

外部評価軽減要件確認票

|       |                    |
|-------|--------------------|
| 事業所番号 | 2375601651         |
| 事業所名  | グループホームカリヨンの郷「新千秋」 |

【重点項目への取組状況】

|       |  |    |
|-------|--|----|
| 重点項目① | 事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）   | 評価 |
|       | 地域の行事に参加したり、地域の保育園児・フラダンス・フラワーアレンジメントなど、趣向を凝らした各種の慰問に来てもらっている。最近、ハンドアロマの施術に来てもらって好評を得ている。地域住民と合同の、防災訓練と地域交流会を企画した。               | ○  |
| 重点項目② | 運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）   | 評価 |
|       | 防災や地震対策など、運営推進会議で得られた意見を参考にして、地域ぐるみで防災訓練と地域交流会を企画したが、台風のため中止となった。  | ○  |
| 重点項目③ | 市町村との連携（外部評価項目：4）  | 評価 |
|       | 市町村から適宜メールが送信されており、必要な情報の提供が随時行われている。所轄の地域包括支援センターは、法人内に委託設置されており、連携は図りやすいが、市町村とは、法人本部が窓口となって関わっており、グループホームだけで市町村と連携するには至っていない。  | ○  |
| 重点項目④ | 運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）   | 評価 |
|       | 開設以来、初めて施設で看取りを行った。マニュアルを作成し同意を得て、訪問診療を行ってくれる医師を探して、管理者や職員、家族が一致協力して行われた。置かれている状況や病状など、良いことも悪いことも、常に家族に報告することで、信頼関係の構築に努めて実施された。 | ○  |
| 重点項目⑤ | その他軽減措置要件  | 評価 |
|       | ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。  | ○  |
|       | ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。  | ○  |
|       | ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。   | ○  |
| 総合評価  |  | ○  |

【過去の軽減要件確認状況】

|      |      |      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|------|------|
| 実施年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 |
| 総合評価 | ○    | ○    |      |      |      |      |

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

| 外部評価項目         | 確認事項  |
|----------------|---|
| 2. 事業所と地域のつきあい | (例示)<br>① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。<br>② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。 |
|                | (例示)<br>① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。<br>② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。   |
| 4. 市町村との連携     | (例示)<br>① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。<br>② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。  |
|                | (例示)<br>① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。<br>② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。<br>③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。           |

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。